



ボランティアコーディネーション力 3級検定をあなたの街で！

「共催検定」のご案内

あなたの街の地域の担い手育成に、「ボランティアコーディネーション力検定」をご活用ください。

「ボランティアコーディネーション力3級検定」を日本ボランティアコーディネーター協会（JVCA）と共に開催することができます。直前研修がセットになったプログラムですので、ボランティアやボランティアコーディネーションの基礎研修としても活用いただけます。1日の直前研修＆検定試験というカリキュラムです。（原則、最少催行人数は30人。対象や人口規模などにより応相談）

◎直前研修は検定当日の対面実施の他、事前にオンデマンド視聴の形式での実施も可能です。

社会
福祉
協議会

地域福祉の担い手の育成、
ボランティアセンター職員の
キャリア形成支援に！

NPO

まちづくりに関わる
人材育成プログラムに
活用！

大学など
教育機関

学生への資格取得支援、
キャリア学習の一環
として！

行政

地域づくりの担い手養成、
市民の活動支援のプロ
グラムとして！

* 基本料金（消費税込）

(1) 検定プログラムの使用料および講師料

200,000円

(2) 検定公式テキスト代 (@2,860円)

85,800円～

(3) 検定料 (@4,180円)

125,400円～

(1)～(3)の合計 411,200円～

(4) 講師にかかる経費の実費

※会場までの往復交通費、宿泊費等

(5) その他

会場の確保、広報、申込受付、研修・試験に際しての係員の配置、直前研修レジュメの印刷などは開催地の役割となります。

※実施にあたっては、団体同士の契約書を締結します。

開催の流れ

① 契約
締結

② 受験者
募集

③ 直前
準備

④ 開催日

⑤ 事後

[開催地]
開催日程および
会場の調整
運営時の人員確保

[JVCA]
直前研修講師の手配

[開催地]
実施要項作成
開催PR
申込み対応

[JVCA]
公式テキスト
受験票の送付

[開催地]
表示物作成
会場備品の手配
研修資料の印刷

[JVCA]
試験問題
研修資料の送付

[開催地]
会場設営
受験者受付
講師対応

[JVCA]
緊急時のフォロー

[開催地]
問題の返送

[JVCA]
採点
合否通知の発送

開催団体の声

社会福祉法人板橋区社会福祉協議会 いたばし総合ボランティアセンター の場合

いたばし総合ボランティアセンターは、2024年12月に策定された「いたばし総合ボランティアセンター運営ビジョン2030」で示された方向性(プラットフォームの構築等)をもとに、取り組みをすすめているところです。いま地域では、多様な活動主体が存在し、連携すべき分野や活動が増えています。これからは、ボランティアセンターだけでコーディネーション機能を担うのではなく、多くの人や組織がコーディネーション機能を高めていくことが必要であると考えて、共催検定を開催することになりました。

参加者は、ボランティア、NPOのほか、町会・自治会、企業や学校等から申込みがありました。コーディネーションの機能を知ることができた、ボランティアコーディネーターの実務について深く知りたい、もっと早く知っていれば良かった等の声が寄せられました。

講義の中で、参加者同士の自己紹介タイムを設けたことで、同じ地域の人を知る機会にもなり、地元で行う共催検定の良さを実感しました。また、参加者同士のつながりを求める声もあり、ボランティアコーディネーションに関わる人とのつながりを創る機会としても有効な方法です。JVCAと共にすることで、これからの取り組みを後押ししていただけたように感じています。

まずは、相談してみてはいかがでしょうか。

ITABASHI
GENERAL
VOLUNTEER
CENTER



龍谷大学ボランティア・NPO活動センター の場合

本学では2014年度より共催検定を実施し、373名が受験しました。受験資格に関しては本学学生には限定せず、地域の方々や他大学生も含めて幅広い受験の機会を創出しています。当センターの学生スタッフからは、日常何気なくやっていた事やコーディネーターからの声かけの意味をこの3級検定を受験する事で理解でき、改めて価値に気付けたという声をよく聞きます。学生スタッフでない学生も自身の活動の意味を理解する事が出来たという声があり、ボランティアの基礎も学べるこの検定は非常に意義のある検定だと実感しています。

学生にとって、興味はあっても見知らぬ会場で見知らぬ大人に囲まれての受験はハードルが高いという現実もあります。共催検定であればいつもの大学で、同じ大学生が多く集まる中での実施となるので、参加のハードルがグッと下がります。主催検定への申し込みは躊躇する学生も、共催検定であれば挑戦できるのではないかと思うか。

最少催行人数の設定があるので、毎年募集期間中はドキドキしますが、ぜひ各大学で実施していただき、この検定の意義がもっと広まればいいなと思います！



ボランティアコーディネーター
吉田 裕貴さん



ボランティアコーディネーション力検定事務局

[認定特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会]

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂2-13 末よしビル別館30D

TEL : 03-5225-1545 FAX : 03-5225-1563 Eメール : jvca@jvca2001.org

<https://www.jvca2001.org/>